

無形文化財保存と 関連技術事業

その問題点と展望

美濃和紙の里会館 館長 清山 健
(本美濃紙保存会事務局)

本美濃紙と関連技術事業（1）

原料関連事業経過

- 特定の原料だからこそ
- 和紙職人と楮生産者が関わる
- 保存会と保存会が関わる
- 自治体と自治体が関わる

本美濃紙と関連技術事業（2）

用具関連事業経過

- ・ 育成事業と製品チェック機能を本美濃紙保存会が担う

原料供給の問題（1）

原料供給と需要のバランス

- ・ 安心して生産していただくには安定した**需要**が必要
→ 豊作・凶作の緩衝材たりえる存在を確立するべき

原料供給の問題（2）

原料加工従事者の不足

- 加工賃収入がどうこうでなく、不足しているとの声がある
→地元の特産として**従事したくなる**ような仕掛けが必要

用具供給の問題（1）

職業として成立するか

- 毎年安定した受注があるか不明
先が見通せない中、勧誘すら困難
→一定の収入見通しと、やりがい
づくりが必要

用具供給の問題（2）

新規参入者の仕事環境

- 世襲で得たものがないため不安定で不足の多い環境
→ 将来を見据えた投資が必要

事務局の問題

原料・用具確保に取り組めるか

- ・事務局は制度を使いこなせるか
→ 行政部局の関与と連携を望む
- ・誰が取り組むのか整理する必要があるか(個であれ全体であれ)

将来への展望（1）

原料生産を支えるために

- 安定した発注を通じ、真心の通った取引を行う
- 地域の特産品としての価値づけを行う

将来への展望（2）

用具職人の伝承のために

安定した発注量を得るほかなし

全国における和紙の一定の消費**から**
全国和紙産地の活性化**を促し、**
全国での用具使用の活性化**を図る**

文化財に使用すれば…

- 1 建造物の魅力向上 **につながり**
- 2 観光客の呼び込み **をうながし**
- 3 文化財の周知に貢献 **できる**
- 4 地域の伝統的和紙生産技術の保存 **へ**
- 5 用具の定期的な発注 → 職人の安定 **へ**
- 6 用具製造技術の向上 **へ**